



コロナ禍における各種支援策

沼津市で取り組まれているコロナ禍での「事業者支援」「健康・医療・福祉支援」について、その概要を抜粋してご紹介します。

事業者支援

<p>バス事業者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスの運行情報の提供やキャッシュレス決済など、ICTを活用して利用者の利便性を向上させる取り組みを進める事業者に対し、設備導入費の一部を補助。 ● 【事業費：2,380万円】 	
<p>飲食店への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 7/28～8/7の期間での営業時間の短縮要請(午後8時～翌5時)に対する協力金。 ● 1日あたりの協力金は3.5万円で、対象店舗数は2,240。 ● 【事業費：11億1960万円】 	
<p>観光事業者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内宿泊事業者、旅行代理店、観光サービス提供事業者、自動車運転代行事業者に対して事業費を補助。(R3.4～9の売上減少分が対象) <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内宿泊事業者 100部屋以上：50万円、～99部屋：40万円、50部屋未満：30万円 ・ 旅行代理店 一律30万円 ・ 観光サービス提供事業者 (入込客数を基準) <ul style="list-style-type: none"> 10万人以上：50万円 10万人未満：30万円 ・ 自動車運転代行事業者 5万円/台で1事業者の上限が50万円 ● 【事業費：7,970万円】 	
<p>中小・個人事業主への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● R3.8～9の売上がR1またはR2の同月と比較して、3割以上5割未満減少した中小・個人事業主に対して県が支給する応援金に上乗せ支給。 ● 法人：上限10万円/月 個人：上限5万円/月 ● 【事業費：1億2,320万円】 	

健康・医療・福祉支援

<p>生活困窮者への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯等について、就労による自立を支援するための生活困窮者自立支援金を支給。(収入・資産・求職活動等の要件あり) ● 支給額(月額)：単身世帯 6万円、2人世帯 8万円、3人以上世帯 10万円 ● 支給期間：申請から3か月 ● 【事業費：約1,832万円】 	
<p>ワクチン接種関連</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 希望する高齢者への接種完了を7月末に前倒しするために、休診・休業をして集団接種会場で従事した医療機関に対して、協力金10万円/半日を支給。 ● 【事業費：2,000万円】 ● 4～7月末の期間中、診療時間外や休日に接種をした医療機関への協力金の加算と、4～9月末の期間で追加が必要となった経費および10～11月の接種に必要な経費。 ● 【事業費：約3億3,428万円】 	

新型コロナワクチン接種の状況

沼津市におけるワクチン接種の取り組みと接種状況です。ワクチンの供給は順次行われる見通しがありつつも、まとめて確保できる量には限りがある状況から、重症化リスクの高い方を優先するなど、接種の順番を決めての対応を進めてきました。

ワクチン接種の開始時期

4月21日～	医療従事者
4月26日～	65歳以上
7月15日～	基礎疾患を有する方・高齢者施設等従事者
7月20日～28日	消防団員・教師や保育士など（優先枠）
7月29日～	60歳から64歳
8月5日～	50歳から59歳
8月12日～	30歳から49歳
8月19日～	12歳から29歳
9月3日～	妊婦とその配偶者など（優先枠）
9月17日～	高校・大学などの受験生（優先枠）

65歳以上の方々向けの接種枠が解放された際、予約の電話が繋がりにくい状況が発生。

インターネットでの予約が行えないの方々へのフォローの必要性を改めて感じつつ、地域と連携した「インターネットでの予約代行」に取り組みました。

こうした地域内での共助の取り組みは、3回目の接種でも必要になるのではと考えます。



ワクチン接種の状況（10月24日時点）

	1回目接種	2回目接種
接種者数	151,304人	135,867人
接種率（対全市民）	78.24%	70.26%
接種率（対12歳以上）	84.81%	76.16%



- 接種率はワクチン接種対象者178,401人に対する割合。
- 接種の開始時期が早い年代ほど、接種率が高い状況。
- 65歳以上の方々の2回目接種率は9割程度。12～29歳の方々の接種率は1回目が7～8割、2回目が5～6割程度。
- 市内の企業・団体等による職域接種も行われ、接種の加速化が図られました。

深田のぼるよりひとこと

第1・2回目のワクチン接種を受けられる期間は、令和3年2月17日から令和4年2月末まで。希望される方はこの期間中に接種できます。国において3回目接種の対象や時期等の検討が進んでいます。これまでの取り組みで得た知見を活かし、円滑な接種体制を整えていければと思います。

